

いのちと安全を考える

「忘 1・17」～ 阪神淡路大震災 27年

本日 1 月 17 日は、本校では「いのちと安全を考える日」と位置づけています。それは 27 年前の今日、阪神淡路大震災が起こったからです。1995 年 1 月 17 日の早朝 5 時 46 分に想像を超えるような大きな地震（マグニチュード 7.3）があり、神戸や淡路島を中心に大きな被害をもたらされました。6434 人も多くの方の命や大切なもの、そしてたくさんの思い出を奪い去ってしまったのです。大阪でも大きな被害があり、その中で一番被害が大きかったのが豊中であり、中でもこの庄内地域でした。そして当時、体育館は避難所となり、たくさんの方が避難（多い時には六中で 600 名）されました。また一方では、悲惨な状況でつらい思いをしている中、たくさんの方がボランティアにかけつけてこられ、支援や応援があり、とても勇気づけられたのです。つらい厳しい状況の中、「人は間に支えられることで、大きな困難を乗り越えられるんだ」という強い実感も、この時もつことができたのかもしれない。



27 年前ですから、今の中学生は、その時のことは直接経験していません。しかし、保護者の方や地域の方々、あるいは自分の身近な人の中には大きな被害を受けた方も多数おられるのです。その時の教訓をしっかり語り継ぎ、当時をふり返るとともに、いのちや安全について考えていくことが大切だと思います。

震災のあった年の中学生シンポジウム（1995 年 9 月 6 日開催）で、「阪神・淡路大震災に対する取り組み」という特別報告で、六・七・十中生徒会が合同で発表した内容について、その一部ですが今年も掲載しておきたいと思います。当時の悲惨な状況やつらい中で頑張ってきた仲間のこと、その中で周りの人たちの温かい気持ちにふれることができたこと等、とても伝わってくるものがあります。

中でも、今年も生徒会ではダルニー奨学金の取り組みをすすめています。当時支援していたタイの奨学生（中学生）から励ましの手紙等をもらったことは、とても勇気づけられたとともに「つながり」を実感することとなったと思います。

<中学生シンポジウム(1995.9.6)での報告概要(一部)>

【六中】六中ではたくさんの仲間が被災にあい、避難所に避難しました。その中の数人は、体育館から登校するという状況になりました。体育館の生活はとてもつらいもので、体調をくずし、風邪をひいたり日頃かからない病気になる仲間もいました。

また、その年の3年生の中で、家をなくされた方がおられ、毎日夜10時まで職員室で勉強され、受験に挑戦された方もいらっしゃいました。

【十中】十中では義援金活動として、一週間あいさつ運動と共に義援金を集めました。執行部の中で義援金を集めるか、文房具を送るか何度も話し合いました。その結果、お金の方がいろいろと使い方があると思い、義援金を集めました。十中は、こんな話し合いが長く続いたために、他の学校よりも遅れて送ることになってしまいました。その義援金をどこに送るかというのも話し合いが繰り返され、神戸や被害が大きいところに皆義援金を送っていると思い、十中からは豊中へ送ることにしました。

【六中】六中生徒会執行部は、多くの仲間が避難したことを知り、学校生活を共にする仲間のために何かできないかと考えました。多くの被災にあった仲間がいる中、義援金を集めるには少し抵抗がありましたが、自分のお小遣いの中から無理のないようにということで、3日間、正門と西門で活動しました。みんな被災しているにも関わらず、たくさんの六中生の気持ちが集まり、必要以上に重みを感じました。六中はテレビなどで被災の状況が報道されたので、たくさんの学校から応援していただきました。近くの学校からかなり遠くの学校まで、たくさんの方々が六中を応援してくれました。あの忌まわしい震災があり、元気をなくしていた六中でしたが、皆さんのあたたかい励ましで、校内も元気を取り戻すことができました。豊中の18校での仲間づくりの活動を実感しました。六中に元気と勇気を与えてくださった皆さんに感謝します。また今回、私たちがサポートしているダルニー奨学金・書き損じ葉書キャンペーンの奨学生の皆さんからも励ましの手紙とパコマという布をいただきました。私たちはサポートするだけではなく、お互いに支え合っている、国境を越えた仲間づくりをしているのだと感じました。 私たちの海外の仲間にも感謝の気持ちを送りたいと思います。



三中から届いた
「人文字のメッセージ」

きのう今日あす

毎日新聞

タイの中学生 震災見舞い

大使館に手紙届ける

豊中の中学生たちが海外へ送った多くの手紙の中の一枚が、タイの大使館に届いた。大使館の職員は、「タイの中学生の心意気を感じた」と語り、手紙を大切に保管している。また、タイの中学生からも、豊中の中学生への応援の手紙が届いた。この手紙には、「タイの中学生は、日本の中学生と同じように勉強が好きです。これからも一緒に勉強しましょう」と書かれていた。

タイの大使館に届いた手紙の一枚。手紙には、豊中の中学生が書いたメッセージが記されている。

奨学金の返礼 豊中の友激励

タイの中学生は、日本の中学生に奨学金を返すだけでなく、豊中の中学生に手紙を送って励ました。手紙には、「日本の中学生は、勉強が好きです。これからも一緒に勉強しましょう」と書かれていた。

タイの大使館に届いた手紙の一枚。手紙には、豊中の中学生が書いたメッセージが記されている。

タイの大使館に届いた手紙の一枚。手紙には、豊中の中学生が書いたメッセージが記されている。

タイの大使館に届いた手紙の一枚。手紙には、豊中の中学生が書いたメッセージが記されている。

タイの大使館に届いた手紙の一枚。手紙には、豊中の中学生が書いたメッセージが記されている。

タイの大使館に届いた手紙の一枚。手紙には、豊中の中学生が書いたメッセージが記されている。